

北緯33度37分
唐津市鎮西町加唐島エヌノ鼻

西 東経129度44分 唐津市鎮西町馬渡島尾崎沖合の大瀬

※人口と世帯数は、
令和7年国勢調査による速報値の
人口及び世帯数を基礎とし、
動態の数値を加減して算出したものです。

北緯32度57分
藤津郡太良町竹崎

佐賀県のすがた

人口 **776,474** 人 (令和8年6月1日現在)
出典: 県統計分析課「佐賀県の推計人口」
世帯数 **321,434** 世帯 (令和8年6月1日現在)
出典: 県統計分析課「佐賀県の推計人口」
面積 **2,440.64** km² (令和8年4月1日現在)
出典: 国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」

県木
(クス)
昭和41年9月
指定
県内では“川古(武雄市若木)”のクス
が一番大きく、根まわり33m、樹齢は
3000年をこえると推定されます。

県鳥
(カササギ)
昭和40年5月
指定
「カチガラス」とも呼ばれ、佐賀平野を中心
に生息しています。大正12年には天然記
念物に指定され、保護鳥となっています。

県花
(クスの花)
昭和29年3月
指定
クスの花は5月に咲き、直径が3~4mm
で、愛らしい白ないし淡黄色をしてい
ます。

2026年度版 県政ガイド 佐賀さいこうビジョン2026

佐賀県 佐賀県 広報広聴課
☎ 0952-25-7351
✉ kouhou-kouchou@pref.saga.lg.jp
©2026 Saga Prefecture.

佐賀県の情報を発信しています!



佐賀県
ホームページ



令和8年度
当初予算



YouTube



TikTok



X

佐賀県



佐賀 さいこう ビジョン 2026

2026年度版県政ガイド

佐賀の未来を見据えて

佐賀県が常に先を見据えて進めてきた数々の取り組み。それが今、芽を出し、花開いています。

世界基準のエンタメアリーナ「SAGAアリーナ」の整備など、県民の皆さんと進めてきた仕掛けが成果となり、令和5年度の一人当たりの県民所得は過去最高額を達成、初めて九州一位になりました。そして今年、県の地価上昇率は、すべての用途で全国一桁順位を記録、大きな好循環が生まれています。

「本物」の地域資源を磨き上げる施策は各地で動き出しています。今年3月、吉野ヶ里遺跡の価値をさらに高める体験型複合施設「スノーピーク グラウンズ 吉野ヶ里」が誕生。6月には海洋プラスチック問題の解決に向けて地域発で世界に発信する「世界海洋プラスチックプランニングセンター」がオープンしました。佐賀県立大学(仮称)の開学や山の博覧会・全国都市緑化フェアの開催が予定されるなど、中長期的な取り組みも進んでいます。



視線は常に未来へ。オール佐賀・チーム佐賀で、人を大切に、世界に誇れる佐賀県を創っていきましょう。
佐賀さいこう！

佐賀県知事 山口 祥義

人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり

県政運営のキーワード

現場

現場の人の想いが実現され、人が現場で輝いていること

ミッション

本来の目的を忘れることなく、何のためにやっているのかという目的意識を常に持って行動すること

プロセス

政策や事業を決定していく場合、県民の声を聴き、そして県民と議論を重ねることで信頼関係をつくること

政策推進の視点



さがデザイン
さがをみかくしくみ

行政にデザインの視点を取り入れ、「見た目をよくすること」だけではなく、地域や事業等が抱える課題を的確に捉えて解決に導くなど、施策を総合的にデザインしています。



さがすたいる
さがらしい、やさしさのカたち

多様な人々が交流し相互理解を深めることにより、年齢、性別、国籍、障がいの有無等に関わらず、みんながしぜんに支え合い、心地よく過ごせるやさしさのカたちを広めていきます。

電子版なら
多言語翻訳&
音声読み上げ
に対応！

より多くの方にお届けできるよう、多言語翻訳や音声読み上げにも対応した「Catalog Pocket(カタポケ)」からも無料で読むことができます。
ぜひスマホやタブレットでもお楽しみください！

こちらから
読めます！



目次

- 03 2026年度 トピックス
- 05 輝こう！▶ 地域の想いを大切に「本物」の価値を磨く
- 07 志そう！▶ 志を胸に 骨太な人材の育成
- 09 育もう！▶ かかわりあう子育て 笑顔あふれる未来
- 11 支えよう！▶ 支え合い、寄り添う やさしい地域
- 13 創ろう！▶ 佐賀らしい文化・スポーツ新時代の創造
- 15 挑もう！▶ 新たな価値を生み 挑戦を続ける産業
- 19 守ろう！▶ 先どる危機管理 安全・安心のまち
- 21 交わろう！▶ 動き出す 人とモノをつなぐネットワーク

2026年度 トピックス

スノーピーク グラウンズ 吉野ヶ里が誕生！

吉野ヶ里歴史公園では、遺跡の持つ「本物」の歴史的価値を後世につないでいくため、歴史ロマンあふれる心地よい公園づくりを続けています。

今年3月にはレストランやカフェ、ショップ、キャンプフィールド、宿泊施設などを備えた「スノーピーク グラウンズ 吉野ヶ里」が誕生し、にぎわいを呼んでいます。「歴史 × 地域 × 野遊び」をテーマにしたライブラリーや、吉野ヶ里遺跡や周辺地域スポットをカードで紹介する風土図鑑の展示・体験コーナーも。さらに、甕棺墓を体験できる模型などのコンテンツも登場。吉野ヶ里遺跡の「本物」の価値に触れる機会が広がっています。

[問]さが政策推進チーム ☎ 0952-25-7360

✉ kikakuteam@pref.saga.lg.jp

まちづくり課 ☎ 0952-25-7159

✉ machizukuri@pref.saga.lg.jp

詳しくは
コチラ



海洋プラスチック問題の解決を 目指す拠点「PLA PLA」

九州北部に位置する波戸岬には、国内外から大量の海洋ごみが漂着します。特に海洋プラスチックは生態系や漁業、観光などに影響し、世界的な課題です。

この問題の解決を目指すため、今年6月に「世界海洋プラスチックプランニングセンター（愛称：PLA PLA）」を波戸岬エリアにオープンしました。回収・分別・再生などを体験できる世界初の海洋プラスチック専門拠点です。佐賀の岬から世界の美しい海を取り戻しましょう。

[問] さが政策推進チーム

☎ 0952-25-7360

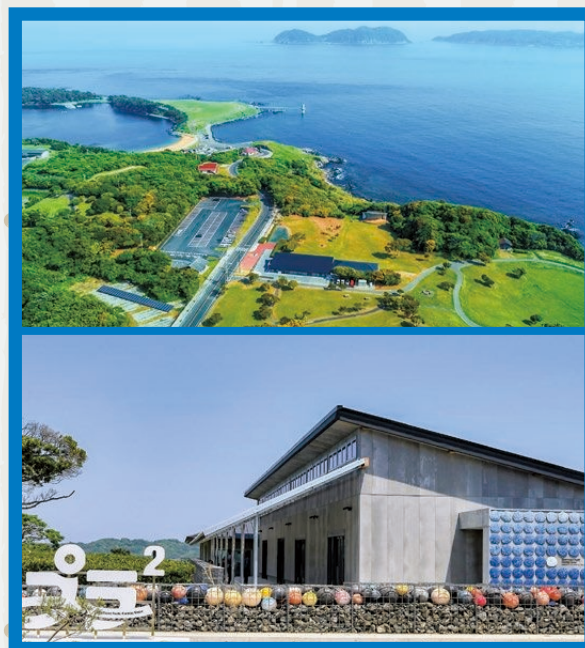
✉ kikakuteam@pref.saga.lg.jp

脱炭素社会推進課

☎ 0952-25-7079

✉ datsutansosuishin@pref.saga.lg.jp

WOPC
World Ocean Plastic
Planning Center
世界海洋プラスチックプランニングセンター



詳しくは
コチラ



女性が輝ける佐賀県へ

女性一人一人が“ありたい自分”を思い描けるように「SAGA Woman Canvas — 私が私を描く — プロジェクト」を展開します。

性別で役割を固定化してしまう意識（もんだ症候群※）などに目を向け、課題に気づききっかけづくりに取り組むほか、ロールモデルと出会い、気づきや交流を促すキャリアトークカフェの開催、ビジネススキルアップや起業の伴走支援など、女性の自己実現を後押し。地域の活力につながる産業発展など他分野への波及的な効果も見据えながら、女性が活き活きと働きやすく、暮らしやすい佐賀づくりを進め、一人一人が思い描く人生を応援します。

[問] 男女参画・女性の活躍推進課 ☎ 0952-25-7062

✉ danjo-katsuyaku@pref.saga.lg.jp

※もんだ症候群とは？

これまでの暮らしで培われた固定観念や前例踏襲によるそれは女性(男性)がやる“もんだ”。これは〇〇する“もんだ”。そういう“もんだ”という意識





輝こう！

地域の想いを大切に 「本物」の価値を磨く



唐津が誇る「本物」の地域資源を世界へ

唐津・玄海エリアでは、誰もがマリンアクティビティを楽しめる環境づくりを進めています。今年4月には唐津の絶景を空から眺められるパラセーリングがスタート。選手や指導者が運営に携わり、次世代アスリートの育成や新たなビジネスモデルも生み出します。

10月10日(土)には、佐賀県で初開催となる国際自転車ロードレース「マイナビ ツール・ド・九州2026佐賀・福岡ステージ」が唐津からスタートします。

ルート・グランブルーなどをコースとし、世界のトップチームも参加するレースを通じて、唐津が誇る「本物」の価値を世界へ発信します。

〔問〕＜KMAP(Karatsu Marine Activity Park)事業＞

さが政策推進チーム ☎ 0952-25-7230

✉ migaki@pref.saga.lg.jp

詳しくは
コチラ



＜マイナビ ツール・ド・九州2026＞

コンベンションチーム ☎ 0952-25-7359

✉ convention-t@pref.saga.lg.jp



詳しくは
コチラ

CASTLE
BAY

マイナビ
TOUR
de KYUSHU
ツール・ド・九州2026



TOSU NESTIVAL 2026開催！



鳥栖駅東側エリアで「TOSU NESTIVAL※」を今年も10月3日(土)、4日(日)に開催！巨大な鳥の巣をイメージした「ネストピア」やたまご型の遊具、ライブステージで盛り上げます。

「集まって楽しむイベント」から「未来を育むイベント」へ進化する今年のテーマは「共創」。地元の皆さんと鳥栖の未来を考えるトークイベントも実施します。

市民や企業、商店街、アスリートらが協力し、自発的に鳥栖の可能性を考える、そのきっかけを生み出し、さらなる活性化を目指します。

〔問〕さが政策推進チーム

☎ 0952-25-7360

✉ kikakuteam@pref.saga.lg.jp



詳しくは
コチラ

※NESTIVALとは？

NEST(鳥の巣、育む)とFESTIVAL(お祭り)を組み合わせた造語。

鹿島・太良で スローな旅を楽しもう

鹿島・太良は、国内外の人々を惹きつける素晴らしい地域資源にあふれています。この価値をゆっくり、じっくりと味わうスローツーリズムを楽しめる地域づくりを進めています。

現在整備している肥前鹿島駅エリアのキーワードは“non-station”、打ち出すべきは“Relation”。鹿島・太良地域に点在する宿泊や滞在、体験を結び、地域全体を“面的なホテル”と捉えることで、スローツーリズムのフロントへと生まれ変わります。

何度も訪れたくなる、愛おしくなる地域を、地域の皆さんとともに創り出します。

〔問〕さが政策推進チーム ☎ 0952-25-7360

✉ kikakuteam@pref.saga.lg.jp



2つの「JAM」をオール佐賀で！

山は全ての人々に恩恵をもたらす源流です。平成29年に「森川海人プロジェクト」を始動し、令和2年からは山の未来をみんなで語り合う「山の会議(仮)」を開催。自発の地域づくりの輪が広がり続けています。

令和10年には佐賀の豊かな自然を未来につなぐ、地域が主役の「SAGA JAM※ 2028(山の博覧会)」と、国内最大級の花と緑の祭典「SAGA GREEN JAM 2028(第44回 全国都市緑化フェア from SAGA)」を開催します。

自然と人のつながりに気づき、行動が変わるムーブメントを、佐賀から全国に広めていきます。

〔問〕山博・緑化フェア事務局 ☎ 0952-25-7637

✉ yamahaku-ryokka@pref.saga.lg.jp



詳しくは
コチラ



2代目
森川海人くん



※JAMとは？

“ギュッと詰め込む”
“思い思いに楽しむ”という意味。



志そう！

志を胸に 骨太な人材の育成



全国産業教育フェア 佐賀大会を初開催！



詳しくは
こちら



未来を担う産業人材を育成するため、今年10月24日（土）、25日（日）に「第36回全国産業教育フェア佐賀大会（さんフェアSAGA2026）」を佐賀県で初開催します。

農業や工業、商業、家庭、福祉などを学ぶ全国の高校生たちが、各競技大会やコンクール、発表、展示、販売を通して学びの成果を発表。ものづくり体験・実演コーナーもあり、小中学生が進路を考えるきっかけにもなるイベントです。

産業教育の素晴らしさを佐賀から全国に発信し、次の世代へバトンをつないでいきます。

〔問〕 学校教育課 ☎ 0952-25-7228
✉ sanfair-saga2026@pref.saga.lg.jp

次世代を担う若者に 平和への想いをつなぐ



Instagram



YouTube



戦没者遺族の高齢化が進む中、昨年の戦後80年佐賀県戦没者追悼式の開催を機に、次世代を担う学生らの学びの場を広げています。

県内の戦跡訪問や戦争経験者・戦没者遺族との対話や取材を通して歴史に触れるとともに、県外にある佐賀県ゆかりの地での学習や平和交流を実施。多角的な視点で平和への想いを育んでいます。

取材の様子を映像化して公開するなど、同世代へも発信中。若い世代が平和の大切さを考え、未来につなぐ取り組みをさらに進めます。

〔問〕 社会福祉課 ☎ 0952-25-7602
✉ syakaifukushi@pref.saga.lg.jp

子どもたちの学びの環境が さらに充実します



子どもたちのため、年々厳しさを増す暑さへの備えを進めています。名付けて「SCHOOL*COOLプロジェクト」では、すべての県立学校の体育館に大型スポットクーラーを2台ずつ整備し、子どもたちを熱中症から守ります。

また、県立高校のトイレを洋式化（スワル）することで、使いやすさや満足度がアガルことを目指し、「スワルとアガル プロジェクト」を実施。これらの取り組みで、より快適な学校生活を送れるよう推進します。

〔問〕 教育総務課 ☎ 0952-25-7224
✉ kyouiku-soumu@pref.saga.lg.jp

佐賀県立大学（仮称） 開学に向けて前進中！



未来の佐賀県をつくるには、時代の変化を捉えて果敢に挑戦し、周囲に変革をもたらす「チェンジ・メーカー」を地域で育む必要があります。

しかし近年は、3,000人もの若者が大学進学を機に県外流出しています。

県立大学の開学により、高校生の進路の選択肢が増え、将来の人材確保にもつながります。さらに、大学間や企業との連携強化によるイノベーションも期待できます。

大学は地域にこそ役割があり、特に公立大学は、地域のニーズを捉え、必要とされる大学であり続けることが大切です。令和11年4月の開学に向けて準備を加速し、地域に愛され、ともに成長する大学を目指します。

〔問〕 さが政策推進チーム
☎ 0952-25-7494
✉ kendaiteam@pref.saga.lg.jp



詳しくは
こちら





育もう！

かかわりあう子育て 笑顔あふれる未来



詳しくは
コチラ



こどもたちの未来を育む 保育の仕事の素晴らしさを発信！

保育の仕事は、佐賀の未来を支えるこどもたちに寄り添い、愛情を注ぎ、支え、成長の喜びを分かち合える、とても尊い職業です。いま頑張っている保育者の皆さんや保育者を志す皆さんにエールを送り、全力でサポートしています。「ほいくのたね。プロジェクト」では、保育現場を知るバスツアーや保育フェスなどを開催するほか、コミック・動画などを活用し、保育の仕事の素晴らしさを現役の保育者や学生と発信します。

多くの人に興味・関心を持っていただくことで、現在と未来をつなぐ「たね」が芽吹き、花が咲き誇るよう進めていきます。

[問] こども未来課 ☎ 0952-25-7616
✉ hoikuyouchien@pref.saga.lg.jp



合わせて知りたい

子育てし大県
“さが”

佐賀での子育てを全力応援！ 子育てし大県“さが”とは？

佐賀県では、「子育ては楽しい」「安心して子育てできる」と思ってもらえるよう、**子育てし大県“さが”プロジェクト**に取り組んでいます。出会いから子育てまで、ライフステージに応じてさまざまな支援を行っています。約11年前にスタートし、取り組みは7事業から84事業まで増えました。

佐賀で育つこどもたちと、周りで支える皆さんを全力で応援します！



詳しくは
コチラ



佐賀県子育て
応援キャラクター
さがっぴい



詳しくは
コチラ



0～2歳のお子さんとの おでかけを応援！

0～2歳児がいる家庭は荷物が多くなり、移動も大変です。そこで、0～2歳のお子さんとのおでかけを応援するため、県内の「子育てし大県“さが”タクシー」で使えるタクシー利用券2万円分をお届けしています。

タクシーを利用することで病院に向かう最中も看病ができたり、レジャースポットへのおでかけでは会話がより弾んだり、親子で大切な時間を過ごせます。

おでかけが親子にとってやさしい時間となるよう応援します。

[問] こども未来課 ☎ 0952-25-7381
✉ kodomomirai@pref.saga.lg.jp



おたから さがふりかけOTAKARAを 食べて佐賀を大好きに！

未来を担うこどもたちに郷土愛の醸成と食育の推進を図るため、規格外などのロス食材を活用したふりかけ「さがふりかけ OTAKARA」を開発しました。県産食材の“規格外”部分、いわば「眠れるお宝」を活用することで、佐賀のおいしい食材や食品ロス削減を体験的に学ぶ機会となり、給食の時間がより豊かになります。

今年度は県内の全小学校へ配付。より多くのこどもたちに「食」について考えながら佐賀を大好きになってもらえるよう展開します。

[問] こども未来課 ☎ 0952-25-7381
✉ kodomomirai@pref.saga.lg.jp





支えよう！

支え合い、寄り添う やさしい地域



シニア世代が躍動！ 地域を支える力に

シニア世代が楽しく誇りを持って暮らし、地域で活躍できるよう、「ゆめさが大学」の活力を生かした取り組みを進めます。学びの成果を伝える「学校祭」を一般の皆さんにも開くことで在校生の活動意欲向上や、参加者にシニア世代のパワーを実感してもらうきっかけにつなげます。

さらに「ゆめさが大学アシストセンター」では、在校生や卒業生はもちろん、一般の皆さんも対象に、地域での活動の始め方や続け方を相談員がサポートします。

〔問〕 長寿社会課 ☎ 0952-25-7054
✉ tyoujyusyakai@pref.saga.lg.jp



佐賀らしいやさしさのカタチ 「さがすたいる」を発信



年齢や性別、国籍の違い、障がいの有無に関わらず、みんながしぜんに支え合い、心地よく過ごせる佐賀らしいやさしさのカタチ「さがすたいる」を広めています。

今年度は11月を「さがすたいるMonth」とし、交流イベントやワークショップなどを開催予定。「さがすたいる」の想いを広め、多様性を認め合い、しぜんの「やさしさ」が当たり前になることで、誰もが自分らしく輝ける明るい未来を目指します。

〔問〕 県民協働課 ☎ 0952-25-7068
✉ kenminkyoudou@pref.saga.lg.jp



詳しくはコチラ



多文化共生を推進し 安心して暮らせる地域へ

県内に住む外国人も、地域を支える大切な仲間。まずはお互いを知ることが、誰もが安心して暮らす第一歩です。

顔の見える関係づくりのため、暮らしに身近な日本語を学ぶ「地域日本語教室」の活動支援や地域の人と意見を交わす「タウンミーティング」を実施。

外国人を雇用する事業所では「オーダーメイド型研修」を行っています。

また、外国人の困りごとは「さが多文化共生センター」で相談を受け、解決に向け支援しています。互いに理解し合い、ともに活躍できる佐賀県を創ります。

〔問〕 多文化共生さが推進課 ☎ 0952-25-7328 ✉ tabunkasagasuishin@pref.saga.lg.jp



※Swaccaとは？

佐賀の「S」とつながりの「輪っか(wacca)」を組み合わせた愛称。佐賀弁の「座っか(座ろうか)」と同じ音。メンバーは126団体(令和8年5月末時点)。

孤独・孤立を防ぐ心あたかな佐賀県へ

人と人とのつながりが薄くなり、望まない孤独や孤立に陥りやすい昨今。孤独や孤立は、いつでも・誰にでも起こり得る問題です。そこで、CSOなどの支援機関が分野の垣根を越えてつながりを強め、孤独や孤立に陥っても声を上げやすい社会をつくるため、昨年12月に「佐賀県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム(愛称:Swacca^{すわっか}※)」を立ち上げました。

支援の輪を広げながら孤独や孤立を予防し、誰一人取り残さない佐賀県を目指します。

〔問〕 社会福祉課 ☎ 0952-25-7053
✉ syakaifukushi@pref.saga.lg.jp

詳しくはコチラ



福祉施設の業務効率化をサポートします

高齢者や障害者が利用する福祉施設の設備投資を支援し、働く職員の業務効率化や負担軽減を後押しします。

一度に多くの量を調理できる業務用調理器具、おむつや嘔吐物などで汚れたりネン類をそのまま洗える汚物除去洗濯機などの導入経費を一部補助。機器の導入により職員の負担が軽減されることで、利用者に向き合う時間を増やし、サービスの充実につなげます。

〔問〕 長寿社会課 ☎ 0952-25-7054 ✉ tyoujyusyakai@pref.saga.lg.jp
障害福祉課 ☎ 0952-25-7401 ✉ shougaiukushi@pref.saga.lg.jp





創ろう！

佐賀らしい文化・スポーツ 新時代の創造



「魅せる収蔵庫」プロジェクト始動！

吉野ヶ里遺跡など県内の遺跡から発見された出土品の数はコンテナ約5万箱分と膨大な量です。学術的価値を持つ出土品は分散して保管しており、「本物」の価値が公開されず眠ったままです。

そこで出土品を1か所に集約し、収蔵したまま展示する、全国的に例のない「魅せる収蔵庫」の整備を進めます。

今年度は、東京大学総合研究博物館と連携し、構想・計画づくりに着手。着実に整備を進め、圧倒的な量を誇る「本物」で皆さんを魅了します。

〔問〕文化課 文化財保護・活用室 ☎ 0952-25-7233
✉ bunkazaihogo@pref.saga.lg.jp



詳しくは
コチラ



陶磁器の町・有田を 生きたミュージアムに！

世界に誇る陶磁器文化を生かし、新しい文化観光エリアをつくる「世界の文化創造拠点ARITAプロジェクト」を進めています。



海外からの観光客が町全体で陶磁器文化を肌で感じられる“生きたミュージアム”にするため、心に響く文化体験や上質な宿泊施設を整備。さらに、九州陶磁文化館を拠点として、まちなかや周辺地域へ足を運んでもらえるよう、展示や案内の充実を図ります。

有田を起点に、「本物」の文化に触れる旅を県全体へ広がっていきます。

〔問〕観光課 ☎ 0952-25-7386
✉ kankou@pref.saga.lg.jp



詳しくは
コチラ



プロスポーツチームをみんなで応援しよう！

佐賀県では、SAGA久光スプリングス(SV)、佐賀バルナーズ(Bプレミア)、サガン鳥栖(J2)、トヨタ紡織九州レッドトルネードSAGA(リーグH)といったチームが活躍しており、トップリーグの試合を多数観戦できます。

この環境をより多くの方に楽しんでいただけるよう各チームと連携し、それぞれのホーム会場でスタンプを集めると豪華景品が当たるキャンペーンを実施します。さらに、選手との交流の機会創出やチームの情報発信にも取り組みます。

〔問〕スポーツムーブメントチーム
☎ 0952-25-7526
✉ sports-movement@pref.saga.lg.jp



SVリーグ女王に輝いたSAGA久光スプリングス



サガン鳥栖の選手による
子どもたちへのサッカー教室



佐賀バルナーズの魅力を
発信する情報発信番組「バルトーク」



SAGA久光スプリングス



佐賀バルナーズ



サガン鳥栖



トヨタ紡織九州
レッドトルネードSAGA



バルトーク #6

スポーツとの関わり方に 新たな選択肢を

SSP構想の一環として、今年度はマルチスポーツの実証・普及に取り組みます。



マルチスポーツとは、子どもたちが成長期に1つの競技に専念するのではなく、同時期に複数のスポーツを経験することです。海外ではバスケットボールや野球、陸上など複数のスポーツ経験を通して運動能力や主体性を育む考え方が広がっています。

マルチスポーツを体感できるプログラムを創出し、効果を検証しながらスポーツとの関わり方の選択肢を広げます。

〔問〕SAGAスポーツピラミッド推進チーム
☎ 0952-25-7345
✉ ssp-t@pref.saga.lg.jp

アスリート寮を 新たに整備します！

これまで県内3か所にアスリート寮を整備し、高校生アスリートの成長を応援してきました。今回、新たに女子生徒向けアスリート寮を佐賀市に整備します。

令和10年に開設予定の寮は3階建てで、各競技団体などにフロア単位で貸し出すため、練習時間や食事内容などチームの方針に合わせた柔軟な運用ができることが特徴です。

仲間とともに生活し、競技と学業を両立しながら成長できる拠点を整備することで、女子アスリートの夢の実現を力強く後押しします。

〔問〕SAGAスポーツピラミッド推進チーム
☎ 0952-25-7345
✉ ssp-t@pref.saga.lg.jp



挑もう！

新たな価値を生み 挑戦を続ける産業



賃金UPの、その先へ 経済成長の好循環を創出

県内企業の収益力を高めることで持続的な賃上げ・人材確保・企業成長といった好循環を目指す「NEXT賃金UPプロジェクト」を進めています。

補助金や専門家の紹介など、県内中小企業の持続的成長のために様々な手段を用意。無料の専門家による支援事業では、各分野の専門家が経営改善や業務改革、IT・DX推進、販路拡大、補助金申請のサポートなど幅広く支援します。

さらに、県内各地でセミナーを開催。構造的な経営改革を応援します。

[問] 産業人材課 ☎ 0952-25-7100
✉ sangyoujinzai@pref.saga.lg.jp

詳しくは
コチラ



高校生の県内就職を全力で応援します！

高校生の県内就職率65%超を目指す「プロジェクト65+（シックスティファイブプラス）」を進めています。これまでに県内企業の合同説明会や企業訪問ツアーなどを開催。その結果、高校生の県内就職率は6年連続で65%超を達成しました。

これをさらに加速させるため、今年から新たに「私立高校キャリアキャラバン」を行います。合同企業説明会を学校単位で開催し、各校の専門分野や生徒のニーズに合う県内企業が集結。生徒の企業理解がより深まり、マッチングしやすくなることが期待されます。

[問] 産業人材課 ☎ 0952-25-7310
✉ sangyoujinzai@pref.saga.lg.jp



コスメビジネスの拠点都市・佐賀県へ

唐津エリアを中心に県内全域へと広がるコスメティック構想。「コスメ県SAGA」のコミュニティ形成や、県内事業者のコスメビジネスの伴走型支援により、県内コスメ産業の裾野拡大・進化を応援しています。

来年3月2日(火)、3日(水)にはジャパン・コスメティックセンターと連携し、「コスメ国際フォーラム2027 in SAGA」を開催。今年佐賀大学に新設されたコスメティックサイエンス学環とも連携し、コスメビジネスの拠点都市となることを目指します。

[問] コスメティック産業推進室 ☎ 0952-25-7397
✉ monodukurisangyou@pref.saga.lg.jp

詳しくは
コチラ



※この画像は生成AIで作成されています

未来の産業人材を育てる イベントを多数開催！

県内企業のあらゆる分野で人材不足が続く中、佐賀で育った子どもたちが、将来、地域を支える人材として活躍するきっかけづくりも進めています。

「SAGA × Out of KidZania」を今年も開催するほか、子どもたちが佐賀ならではのものづくりを学ぶ「ものスゴフェスタ」や理系的発想を育む「キミノミチ発見ラボ」なども開催。小中学生から高校生、大学生、Uターンの方まで、切れ目なく企業の人材確保支援を進めています。

[問] 産業人材課 ☎ 0952-25-7310
✉ sangyoujinzai@pref.saga.lg.jp



企業・起業家の成長を佐賀の原動力に

さが産業ミライ創造ベース(RYO-FU BASE)は、企業のDX推進とスタートアップ支援を担う拠点として、県内企業や起業家の成長を後押ししています。今年度はAIやデータ活用へのリスキリング支援、女性のキャリア支援などにも力を入れていきます。

佐賀県産業イノベーションセンター(PERCH)は、主に中小企業の経営に関する相談に応じる企業支援機関です。多様な分野をサポートできる体制を整えており、助成金事業などの支援メニューも充実しています。

[問] 公益財団法人佐賀県産業振興機構

さが産業ミライ創造ベース
(RYO-FU BASE)
☎ 0952-25-8822
✉ info@ryofubase.jp



佐賀県産業イノベーション
センター(PERCH)
☎ 0952-34-4411
✉ daihyou@sagaperch.jp



佐賀の豊かな農業の 未来づくりにチャレンジ

農家の所得向上と産地拡大を目指し、令和元年度から「さが園芸888運動」を展開しています。農業者が減少する中で今ある農地を有効活用していくには、点在する農地を集めて大区画化し、より効率的に生産する必要があります。このため、専門チームを立ち上げ、地権者の協力を得ながら農地集約※を進めています。

さらに、担い手不足に対応するため、企業の農業参入も誘致。農業の価値を発信し、「農業を始めるなら佐賀県」と選ばれるよう取り組んでいます。

[問] 農業経営課 ☎ 0952-25-7422
✉ nougyoukeiei@pref.saga.lg.jp
園芸農産課 ☎ 0952-25-7114
✉ engenousan@pref.saga.lg.jp

詳しくは
コチラ



さが園芸888運動
チャレンジ！さがの未来を共に創ろう

※農地集約とは？

農地が分散している状況を解消し、まとまった農地利用を図ること。



農福・産福連携で ともに支え、発展しよう

農業分野で障がいのある方が働き手として活躍する「農福連携」を進めています。さらに今年度から、産業分野での活躍を後押しする「産福連携」もスタート。産福連携コーディネーターを配置し、県内ものづくり企業から障害福祉事業所への発注拡大をサポートします。

企業は人材不足の改善や企業価値の向上に、福祉では障がいのある方の活躍の場の拡大や工賃向上につながります。互いの持ち味を生かし、ともに発展できる佐賀県を目指します。

[問] 障害福祉課 就労支援室 ☎ 0952-25-7389
✉ shougaifukushi@pref.saga.lg.jp

全国お茶まつり 27年ぶりの佐賀開催！



国内最大級のお茶のイベント「全国お茶まつり」を27年ぶりに佐賀で開催します。日本一のお茶を決める全国茶品評会や、出品されたお茶の入札会を行うほか、式典や機械の展示、お茶のPRイベントなどを実施。11月21日(土)、22日(日)に佐賀県立博物館・美術館前で開催するPRイベントでは、煎茶体験や利き茶、お茶の試飲・販売、お茶スイーツの販売などで盛り上げます。

佐賀県のお茶の素晴らしさを全国に発信し、お茶を楽しむ機会を増やすことで、地域振興につなげていきます。

詳しくは
コチラ



[問] 園芸農産課 ☎ 0952-25-7119 ✉ ochamatsuri_saga@pref.saga.lg.jp

移住前の仕事体験で 佐賀暮らしの実現を後押し

佐賀への移住を考えている方が生活や仕事について相談できるよう「移住サポートデスク」を設置しています。移住の第一歩から暮らしの実現まで、切れ目のない支援が好評です。

特に仕事の面では、「どんな仕事があるのか」「就職できるのか」といった不安を軽減できるよう、移住前に仕事を体験できるイベントへの参加を募集。農業や伝統産業に携わる体験を通して佐賀での暮らしを具体的にイメージし、安心して移住できるようサポートします。

[問] 移住支援室 ☎ 0952-25-7393
✉ sagaiju@pref.saga.lg.jp

詳しくは
コチラ



環境の変化に負けない水産業をつくる

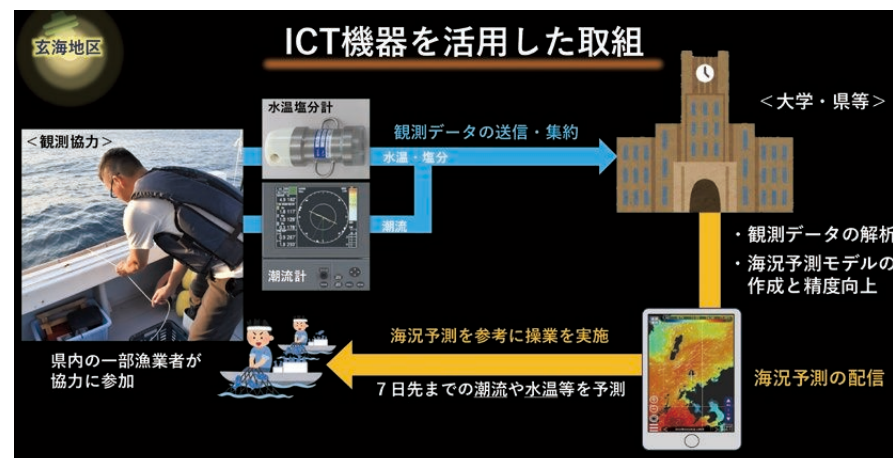
気候変動の影響により、漁業を取り巻く環境は厳しさを増しています。環境の変化に対応できる持続可能な水産業を目指し、様々な取り組みを進めています。玄海地区では、ICT機器などを活用した効率的な操業や、新たな漁業との兼業への挑戦を支援しています。

有明海地区では、ノリの色落ちの原因となる赤潮対策として、プランクトンの発生予測やその情報の配信、二枚貝を増やす取り組みを行っています。生産者の努力とこれらの取り組みが実を結び、ノリ養殖は販売枚数、販売額ともに4年ぶりに日本一になりました。

[問] 水産課 ☎ 0952-25-7144 ✉ suisan@pref.saga.lg.jp



有明海地区





守ろう！

先どる危機管理 安全・安心のまち



7さいめせんのこうつうあんぜん

歩行中の交通事故による死傷者数を年齢別に見ると、7歳が特に多くなっています。小学生になり、行動範囲が広がることが一因です。

このため、大人と子どもの目線の違いや子どもの行動特性を考慮して、地域ぐるみで道路の安全点検を行い、誰もが安心して歩ける環境づくりを目指す「7さいめせんのこうつうあんぜん」に取り組んでいます。

今年4月には通学風景を観察し、専門家のアドバイスなどをもとに「通学路点検チェックリスト」を作成。子どもたちが今日も元気に「ただいま！」と帰って来られる毎日を、みんなでつくっていきましょう。

[問] 道路課道路安全推進室 ☎ 0952-25-7156
✉ douro@pref.saga.lg.jp

詳しくは
コチラ



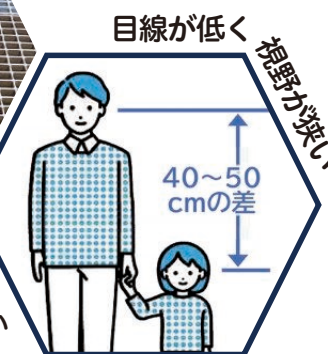
歩く
縁石の上を



覗き込む
側溝を



大人と子どもの
見え方や行動の違い



対策例

横断歩道周辺の
低木撤去



大人の目線



子どもの目線



見えない

“もしも”に備える避難所づくり

災害時に避難所で安心して過ごせるよう、市町や関係団体と連携し、避難所環境のさらなる充実を進めています。

上下水道などが止まり、トイレが使えなくなる場合に備えたトイレカーやトイレコンテナ、乳幼児やペットと避難する方のためのベビーケアルームやペット用ケージ・テントなど、多様な事情に配慮した環境づくりも進めます。

平時から備えることで、災害に強い佐賀県を目指します。

[問] 危機管理防災課 ☎ 0952-25-7362
✉ kikikanribousai@pref.saga.lg.jp

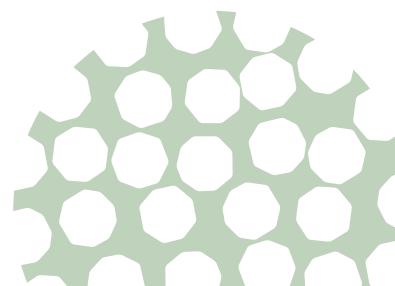


県内の特殊詐欺ゼロを目指して

今年6月末時点の県内の特殊詐欺の被害額は約9億6,216万円で、昨年に引き続き、深刻な被害状況となっています。近年は警察官と偽って金銭を要求する「ニセ警察詐欺」や、SNSで投資を勧め金銭をだまし取る「SNS型投資詐欺」が多数発生しています。

被害防止には詐欺電話のブロックや国際電話不取扱受付センターへの申し込み、警察庁が推奨するアプリのインストールが有効です。詐欺被害を未然に防ぐことで、安全安心な暮らしの実現を目指します。

[問] 警察本部 生活安全企画課
☎ 0952-24-1111(代表)
✉ keisatsubouhan@pref.saga.lg.jp



詳しくは
コチラ



交わろう！

動き出す
人とモノをつなぐネットワーク



未来を拓く幹線道路 ネットワークの整備

県では広域幹線道路ネットワークの整備を進めています。現在は、有明海沿岸道路と佐賀唐津道路が接続するエリア「Tゾーン」を重点的に整備。昨年度から2つの道路の合流・分岐点となる「ジャンクションT」(愛称)の工事に着手しました。

有明海沿岸道路では諸富ICから(仮称)川副ICへの延伸に向けた整備も進んでおり、今年度中に開通予定です。

広域的なアクセスの飛躍的向上を目指し、人やモノの交流をより一層促進させ、佐賀の未来を切り拓きます。

[問] 道路課
☎ 0952-25-7155
✉ douro@pref.saga.lg.jp



※画像はイメージです

諸富IC～(仮称)川副IC
令和8年度開通予定



SAGAの新しい
クロスエリア「Tゾーン」



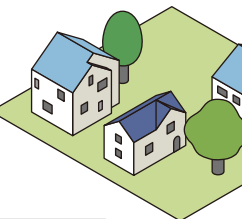
乗って支えよう！地域交通の未来

鉄道やバスなどの地域交通は地域づくりの重要な基盤。地域交通を将来にわたって持続可能なものとしていくためには、みんなで乗って支えることが大切です。

マイカーだけではなく歩くことや地域交通を積極的に取り入れる「歩くライフスタイル」を推進するため、鉄道の定期券補助やデジタル乗車券の造成、タクシーの利用促進に取り組んでいます。

こうした取り組みを通じて環境や健康にも良い影響が生まれ、乗る人が増え、「まち」が元気になるという好循環につながっていきます。

[問] 交通政策課／地域交通システム室
☎0952-25-7341／☎0952-25-7525
✉ koutsuuseisaku@pref.saga.lg.jp



可能性を広げる
歩いて楽しい道づくり

 歩こう。佐賀県。



JR佐賀駅の「佐賀城口」から「さが維新広場」までの約200mの歩道が、広場のようにゆとりのある空間「さが維新テラス」に様変わり。家族や友達同士で、ベンチやテラス席でおしゃべりを楽しんだり、キッチンカーやマルシェで買い物したりと、思い思いに豊かな時間を過ごせます。

さらに今年度は「さが維新広場」もリニューアル予定。今後も「さが維新テラス」の可能性を引き出し、「歩いて楽しい道(みち)づくり」から「まちづくり」へと広がっていきます。

[問] まちづくり課 ☎0952-25-7159
✉ machizukuri@pref.saga.lg.jp



おでかけをサポートする
アプリ「my route」の
ダウンロードはコチラ!

